

第一商業 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科：公民

科目：政治・経済

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 選択科目受講者

教科担当者：（ X選択・Z選択：代田 有紀）

使用教科書：（ 第一学習社 『政治・経済』 ）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 政治・経済

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学期 A 市場経済の機能と限界 ・資本主義経済の特徴や現代経済の特質について理解する。 ・市場の基本である「需要と供給との関係」について、正しく理解する。 ・家計・企業・政府が互いにどのように関わあいながら国民経済を構成しているのかを理解する。 ・株式会社とはどのようなものか、所有と経営の両面から理解するとともに、企業の社会的責任について考察する。 ・国民所得の構成や景気変動、経済成長について、諸資料を利用して、日本と諸外国の現状を比較する。 ・物価の変動要因を理解するとともに、物価の変動が国民経済に及ぼす影響について考察する。 ・独占、寡占状態の市場での消費者に対する影響と、その弊害を排除するための措置について理解する。 ・市場の失敗に関連して、公害や消費者問題などの社会問題への対策のあり方について考察する。	○指導事項 ・経済活動と市場 ・経済主体と経済循環 ・国民経済の大きさや経済成長 ・物価と景気変動 ・市場の失敗と公害・消費者問題 ○教材 ・教科書 ・資料集 ・問題集 ・プリント、資料 ○一人1台端末の活用 等 ・Teamsによる共有・課題配信	【知識・理解】 ・経済の役割と、市場経済における人々の選択について、理解している。 ・資本主義経済の特質とその変容について、理解している。 ・二つの経済主体の活動と、経済循環における役割について、理解している。 ・株式会社のしくみと株主との関係について、理解している。 ・ストックとフローの概念や、GDPなどの指標について、理解している。 ・経済成長率における名目と実質の違いや、経済成長の要因について、理解している。 ・インフレとデフレの原因と影響、景気変動のしくみについて、理解している。 ・物価や景気の変動に対する政府の施策について、理解している。 ・さまざまな市場の失敗の事例と、その弊害について、理解している。 ・公害と消費者問題に対する施策について、理解している。 【思考・判断・表現】 価格はどういうようにして決まるのか、具体的な市場を取り上げて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・企業の社会的責任のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自立した消費者としてどのような行動をとるべきか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・市場の機能と限界や解決のあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「市場経済の機能と限界」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
B 持続可能な財政および租税のあり方 ・財政の基本的なしくみや役割、租税の意義やその使途について理解する。 ・日本の財政の現状について、公債残高が膨張していることを理解するとともに、将来に及ぼす影響を考察する。	○指導事項 ・財政のしくみと租税の意義 ○教材 ・教科書 ・資料集 ・問題集 ・プリント、資料 ○一人1台端末の活用 等 ・Teamsによる共有・課題配信	【知識・技能】 ・財政の機能としくみについて、理解している。 ・租税の種類やその特徴について、理解している。 【思考・判断・表現】 ・財政における国と地方の役割分担について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・持続可能な財政のあり方を多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「持続可能な財政および租税のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	2
C 金融を通じた経済活動の活性化 ・金融のしくみや役割、日本銀行の金融政策、金融の自由化などの金融に関する環境の変化を理解する。	○指導事項 ・金融のしくみと働き ○教材 ・教科書 ・資料集 ・問題集 ・プリント、資料 ○一人1台端末の活用 等 ・Teamsによる共有・課題配信	【知識・技能】 ・金融のはたらきと金融機関の役割について、理解している。 ・日本銀行の金融政策とその影響について、理解している。 【思考・判断・表現】 ・現在の金融をめぐる動向とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・金融を通じた経済活動の活性化のしくみやあり方を多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「金融を通じた経済活動の活性化」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	2
定期考査			○	○		1

	D 経済活動と福祉の向上 ・第二次世界大戦後の日本経済の変化および、現在の日本経済の課題について理解する。 ・大企業と中小企業の違いや日本経済において中小企業が果たしている役割について理解する。 ・日本の農業が直面している課題について理解する。 ・労働基本権と労働三法の基本的内容とその意義を理解する。 ・若年層・女性・中高年・障害者・外国人労働者など最近の労働問題をさまざまな視点で考察する。 ・日本の社会保障制度を体系的に捉えとともに、現在の制度上の問題点と課題について考察する。	○指導事項 ・日本経済の変化と中小企業・農業問題 ・労使関係と労働問題 ・社会保障制度と福祉のあり方 ○教材 ・教科書 ・資料集 ・問題集 ・プリント、資料 ○一人1 台端末の活用 等 ・Teamsによる共有・課題配信	【知識・技能】 ・日本経済における産業構造の変化について、理解している。 ・現在の日本経済の現状と課題について、理解している。 ・労働三法の内容について、理解している。 ・日本の社会保障制度について、理解している。 【思考・判断・表現】 ・日本の中小企業や農業経営者が直面している課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現在の日本の労働問題や、労働環境をめぐる課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本の社会保障制度の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・経済活動と福祉の向上との関連について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「経済活動と福祉の向上」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	E 現代日本の諸課題の探究 ・現代日本の諸課題について、政治と経済との関連に留意しながら、さまざまな角度（視点）から考え、客観的な立場に立つて望ましい解決のあり方を構想する。 ・第1編第1章の学習の成果の上に立って、現代日本の諸課題について探究し、さまざまなメディアや聞き取りなどによって調査する。 ・調査結果をもとに、話しあい・発表・レポート・小論文などの言語活動によって自分の意見を表現する。	○指導事項 ・少子高齢社会における社会保障の充実・安定化 ※ ・各自の調査・探究は宿題とする。 ・授業で取り上げられなかったテーマについては別途講義を実施する。 ○教材 ・教科書 ・資料集 ・問題集 ・プリント、資料 ○一人1 台端末の活用 等 ・Teamsによる共有・課題配信	【知識・理解】 ・諸課題の探究にあたって、日本社会の動向に着目したり、国内の諸地域や諸外国における取り組みなどを参考にしたりしている。 【思考・判断・表現】 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本社会の諸課題を探究する活動を通して、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明、論述している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かうとしている。	○	○	○	2
	F 日本国憲法と現代政治のあり方 ・民主政治の本質を把握しながら、政治と私たちとの関わりについて理解する。 ・法に関する基本的な見方や考え方を把握しながら、法の意義について理解する。 ・基本的人権が確立するまでの歩みを理解しながら、人権保障の広がりについて考察する。	○指導事項 ・政治と法の意義と機能 ・法の支配と立憲主義 ○教材 ・教科書 ・資料集 ・問題集 ・プリント、資料 ○一人1 台端末の活用 等 ・Teamsによる共有・課題配信	【知識・理解】 ・政治や政治権力の意味とその役割について、理解している。 ・法の支配や立憲主義の意味と意義について、理解している。 ・について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○			2
	定期考査			○	○		1
2 学 期	F 日本国憲法と現代政治のあり方（続き） ・基本的人権が確立するまでの歩みを理解しながら、人権保障の広がりについて考察する。 ・日本国憲法の成立過程を把握しながら、日本国憲法の三大原理について理解する。 ・個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について把握しながら、権利相互の関係や人権をめぐる諸課題について理解する。 ・自由権や社会権、参政権などの基本的人権や新しい人権について理解を深め、その本質を把握する。 ・人権に関する判例を活用しながら、権利と義務との関係について理解する。 ・民主主義の発展について理解するとともに、各国の政治体制について諸資料を利用して比較し、類似点や相違点を理解する。 ・国会、内閣、裁判所などの政治機構にふれながら、それぞれの役割について理解する。 ・日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について、問題点も含め、幅広い視点から考察する。 ・裁判員制度について理解し、報道資料などから国民の司法参加の意義を考察するとともに、刑罰の意義や犯罪被害者の救済、犯罪者の更生のあり方について考察する。	○指導事項 ・基本的人権の保障と日本国憲法 ・現代社会における新しい人権 ・権利と義務との関係 ・議会制民主主義と世界の政治体制 ・国会の組織と立法 ・内閣の機構と行政 ・裁判所の機能と司法制度 ○教材 ・教科書 ・資料集 ・問題集 ・プリント、資料 ○一人1 台端末の活用 等 ・Teamsによる共有・課題配信	【知識・理解】 ・基本的人権が確立した背景や経緯について、理解している。 ・新しい人権が主張されるようになった背景や、新しい人権の具体的内容について、理解している。 ・人類は人権保障に向けてどのように努力してきたか、理解している。 ・民主政治の考え方や、議院内閣制や大統領制の特徴について、理解している。 ・国会の地位と構成について、理解している。 ・法律はどのようにして成立するのか、理解している。 ・日本の内閣と国会の関係について、理解している。 ・内閣総理大臣と内閣の権限について、理解している。 ・司法権の独立と日本の裁判制度について、理解している。 【思考・判断・表現】 ・法の意義と機能について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国家の統治原理として、法の支配や立憲主義を確立することの大切さについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・個人の尊厳や憲法によって保障されている自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・権利と義務との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・よりよい民主政治のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国会の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・今後の行政の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国民の司法参加のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本国憲法と現代政治のあり方との関連について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「日本国憲法と現代政治のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8

G 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方 地方自治の本旨を把握しながら、地方分権と住民の権利について理解し、国と地方の関係を考察する。 ・日本の選挙制度について把握しながら、政党や圧力団体の行動とその意義を理解する。 ・政党政治や選挙、国民の政治意識や政治行動の特徴などを理解しながら、政治や選挙への関心を高める。 ・選挙結果や投票率の動向などを、さまざまな情報手段を活用して調査し、主権者としての政治参加のあり方について考察、構想する。	○指導事項 ・地方自治制度と住民の権利 ・政党政治と選挙 ○教材 ・教科書 ・資料集 ・問題集 ・プリント、資料 ○一人1 台端末の活用 等 ・Teamsによる共有・課題配信	【知識・理解】 ・地方自治の本旨の意味と日本の地方自治制度について、理解している。 ・政党の意義と役割について理解している。 【思考・判断・表現】 ・地方自治における住民の権利と住民運動の意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本の政党政治や選挙の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・望ましい政治のあり方および主権者としての政治参加のあり方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	2
H 現代日本の諸課題の探究 ・現代日本の諸課題について、政治と経済との関連に留意しながら、さまざまな角度(視点)から考え、客観的な立場に立って望ましい解決のあり方を構想する。 ・第1編第1章の学習の成果の上に立って、現代日本の諸課題について探究し、さまざまなメディアや聞き取りなどによって調査する。 ・調査結果をもとに、話しあい・発表・レポート・小論文などの言語活動によって自分の意見を表現する。	○指導事項 ・地域社会の自立と政府 ※ ・各自の調査・探究は宿題とする。 ・授業で取り上げられなかったテーマについては別途講習を実施する。 ○教材 ・教科書 ・資料集 ・問題集 ・プリント、資料 ○一人1 台端末の活用 等 ・Teamsによる共有・課題配信	【知識・理解】 諸課題の探究にあたって、日本社会の動向に着目したり、国内の諸地域や諸外国における取り組みなどを参考にしたりしている。 【思考・判断・表現】 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本社会の諸課題を探究する活動を通して、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明、論述している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
I 国際法の果たす役割 21世紀の国際社会の動向について把握するとともに、世界情勢がどのように変化しているのかを理解する。 ・国際社会の成立過程を把握しながら、実際には国家間でさまざまな格差があることを理解する。 ・グローバル化の進展により、国際社会ではNGOや多国籍企業など国家以外の機関や組織が活動していることを理解する。 ・国際政治と国内政治の違いや、国際法や国際裁判の意義を理解する。 ・国際連盟と国際連合の違いを把握しながら、国際連合の役割、国際連合が抱えている課題について理解する。 ・民族紛争を例に、複雑な国際関係を幅広い視点から考察するとともに、国際社会における文化や宗教の多様性について理解する。 ・軍縮や国際平和に関する問題について、メディアを利用して調べ、その課題について考察する。	○指導事項 ・国際社会の変遷 ・国際法の意義 ・国際機構の役割 ・国際紛争と軍縮への取り組み ○教材 ・教科書 ・資料集 ・問題集 ・プリント、資料 ○一人1 台端末の活用 等 ・Teamsによる共有・課題配信	【知識・理解】 21世紀以降の国際社会の動向について、理解している。 ・国際法と国内法の違いや、国際法の種類や特徴について、理解している。 ・さまざまな国際裁判とそのしくみについて、理解している。 ・勢力均衡と集団安全保障の違いについて、理解している。 ・国際連合の機能と主要機関の役割について、理解している。 ・国際紛争はどのような原因で起きるのか、理解している。 ・紛争当事者の変化や、平和的解決のための取り組みについて、理解している。 【思考・判断・表現】 ・国際社会の多極化や国際協力について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・領土問題などの国際紛争の解決のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・今日の国際情勢の変化を受けて、国際連合はどのような役割を強化するべきか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・核兵器廃絶のために、どのような努力がなされてきたのか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際法の果たす役割について、国際社会の特質や国際紛争の諸要因と関連付けて、将来、国際社会においてどのような制度やしくみを作っていくことが必要か、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 「国際法の果たす役割」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
J 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 日本の防衛政策の基本理念について理解する。 ・国際平和と人類の福祉のために日本が貢献できることについて考察する。	○指導事項 ・日本の安全保障と国際貢献 ○教材 ・教科書 ・資料集 ・問題集 ・プリント、資料 ○一人1 台端末の活用 等 ・Teamsによる共有・課題配信	【知識・理解】 ・平和主義の理念と日本の防衛政策の関連について、理解している。 ・日米安全保障協力の変化と自衛隊の海外派遣について、理解している。 【思考・判断・表現】 ・国際社会において日本がこれから果たすべき役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとし	○	○	○	4
定期考査			○	○		1

3 学 期	K 相互依存関係が深まる国際経済の特質 ・国際経済に関する基本的な概念や理論を理解する。 ・グローバル化に伴うもの、モノ、カネの国際的な移動が、国際経済に与える影響について、考察する。 ・国際収支の基本的な構成を把握しながら、経済摩擦の要因である不均衡が生じる原因について理解する。 ・為替相場の変動が国内の産業にどのように影響するか理解する。 ・地域的経済統合や FTA・EPA について関心をもち、諸資料を利用しながら具体的に考察する。	○指導事項 ・貿易の現状と意義 ・国民経済と国際収支 ・為替相場の変動 ・国際協調と国際機関の役割 ○教材 ・教科書 ・資料集 ・問題集 ・プリント、資料 ○一人 1 台端末の活用 等 ・Teamsによる共有・課題配信	【知識・理解】 ・比較優位・考え方や国際分業の利点について、理解している。 ・国際収支統計の基本的な構成について、理解している。 ・変動相場制における為替相場の決定のしくみについて、理解している。 ・日本の対ドル為替相場の推移と、日本経済の動向について、理解している。 ・さまざまな国際経済機関の役割や課題について、理解している。 【思考・判断・表現】 ・現在の世界と日本の貿易の現状と動向について、考察し、表現している。 ・国際収支の動向をもとに、日本の対外経済取引の現状について、考察し、表現している。 ・地域的経済統合や FTA・EPA の意義と課題について、考察し、表現している。 ・国民経済と国際経済の関係において、国益と地味的な規模での協調が求められている現状と問題点について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「相互依存関係が深まる国際経済の特質」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○ ○ ○	10
	L 国際経済において求められる日本の役割 ・先進国と発展途上国の経済格差や新興国の台頭について把握しながら、日本が南北問題の解決に向けてどのような役割が期待されているかを考察する。	○指導事項 ・国際経済における日本の地位と国際協力 ○教材 ・教科書 ・資料集 ・問題集 ・プリント、資料 ○一人 1 台端末の活用 等 ・Teamsによる共有・課題配信	【知識・理解】 ・国際経済における日本の地位について、理解している。 【思考・判断・表現】 ・国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について、考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「国際経済において求められる日本の役割」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○ ○ ○	4
	M 国際社会の諸課題の探究 ・国際社会の諸課題について、政治と経済との関連に留意しながら、さまざまな角度(視点)から考え、客観的な立場に立って望ましい解決のあり方を考える。 ・第2編第1章の学習の成果の上に立って、国際社会の諸課題について探究し、さまざまなメディアや聞き取りなどによって調査する。 ・調査結果をもとに、話しあい・発表・レポート・小論文などの言語活動によって自分の意見を表現する。	○指導事項 ・イノベーションと成長市場 ※ ・各自の調査・探究は宿題とする。 ・授業で取り上げられなかったテーマについては別途学習を実施する。 ○教材 ・教科書 ・資料集 ・問題集 ・プリント、資料 ○一人 1 台端末の活用 等 ・Teamsによる共有・課題配信	【知識・理解】 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる国際社会の諸課題を探究する活動を通して、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させた多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明、論述している。 【思考・判断・表現】 ・諸課題の探究があつて、国際社会の動向に着目したり、諸外国における取り組みや、国際連合における持続可能な開発のための取り組みなどを参考にしたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参加に向かおうとしている。	○ ○ ○	4 合計 70